

検証結果報告書（名古屋大学）

動物実験に関する検証結果報告書

（名古屋大学）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 24 年 1 月

平成 24 年 1 月 16 日

名古屋大学総長
濱口 道成 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム
検証委員会 委員長



対象機関：国立大学法人 名古屋大学
申請年月日：平成 23 年 7 月 28 日
訪問調査年月日：平成 23 年 12 月 14 日
調査員：三好 一郎（名古屋市立大学）
越本 知大（宮崎大学）
喜多 正和（京都府立医科大学）

検証の総評

名古屋大学は70有余年の歴史を持ち、9学部13研究科のほか、3附置研究所、2全国共同利用施設、17学内共同教育研究施設等を擁し1万5千人を越える学生が在籍する我が国を代表する総合大学である。東山および鶴舞、大幸など複数のキャンパスに分布する8部局では、げっ歯類から、家禽、大型家畜まで多様な動物種を対象に、広い研究分野で動物実験が実施されている。名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程のもとで、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開など文部科学省の基本指針に則した動物実験体制が整備されている。複数の離れたキャンパスで研究が活発なことから、動物実験計画や飼養保管施設・動物実験室の数が多いが、7部局に設けた部局動物実験委員会が、審査、あるいは査察・改善勧告等、現実的に機能する実施体制が構築されている。主要な飼養保管施設は、老朽化しているものの管理が徹底され良好な状態が維持されている。飼養保管施設の更新計画が進む一方、空調用熱源設備を省エネルギー型に更新する工夫等により、総合的に良好な管理体制のもとで動物実験が適正に実施されている。

しかしながら、各部局の動物実験はそれぞれの規模や内容に依存するため、部局間の

さまざまな体制整備の標準化や情報の共有過程がわかりにくく、全学と部局に設置された動物実験委員会の役割が明確でない。これらは内規や申し合わせなどの策定による改善が見込めることから、おのおのの施設の特徴に対応した飼養保管マニュアルの整備を含め、善処されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
平成19年3月12日付で施行された「名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程」の内容は、基本指針に則したものである。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程」で基本指針に則した委員会の役割や委員構成に基づいて定められた13名の委員により任務が遂行されている。また、7部局には各々の動物実験委員会規程により部局動物実験委員会が設置され、適時・効率的に実験計画の審査、及び、実施状況及び結果、施設及び飼養保管状況、教育訓練等についても審議又は調査を実施することにより、規模の大きい研究機関における効率的な対応をしている。よって、動物実験委員会の整備状況について自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

動物実験計画及び飼養保管施設・動物実験室は部局委員会で審査・調査した後、部局長の承認を経て総長に報告されるが、総長ならびに動物実験委員会、部局長、部局動物実験委員会の委任関係がわかりにくいと、規則あるいは規程、細則、申請書式の中で各々の役割を明らかにすることが望ましい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程、及び、部局動物実験委員会規程、動物実験計画書、動物実験計画（変更・追加）承認申請書、動物実験（終了・中止）報告書、動物実験結果報告書等、動物実験を実施するために必要な規程や様式等が整備されている。書類記入などの指導により、手続きの円滑な運用を推進している。よって、基本指針に則した動物実験の実施体制が定められているとする自己点検・評価の結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

部局間の情報共有のために動物実験計画の審査要領等の策定を検討されたい。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

組換え DNA 実験規程、病原体等安全管理規程、安全衛生管理規程、化学物質等安全管理規程、放射線安全管理規程、医学系研究科実験動物部門利用の手引き、緊急時対応計画等が基本指針に適合して整備されている。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制が整備され、自己点検・評価の結果は妥当であると判断する。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

緊急時対応計画等が定められているが、動物の飼養保管の観点から飼料・飲水や飼養に要する消耗品の確保や人員の配置の整備等の具体的対応を検討されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 22 年度は実験動物の飼養保管は 8 部局 73 施設で実施された。各施設には実験動物管理者が選任され、部局ごとの飼養保管マニュアルの整備、飼養保管状況の報告に加え、動物実験委員会による視察や改善指導も実施されており、実験動物の飼養保管体制は整備されている。よって、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管体制が整備されていると判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

魚類・両生類および畜産動物を用いた動物実験も動物実験委員会により把握されている点は評価される。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会は、定期的な開催に加えて書面による持ち回り委員会として適宜開催されている。動物実験計画の審査、及び、実験の実施結果の把握、飼養保管施設・動物実験室の審査、自己点検・評価、情報公開等を適正に実施しその記録も保管されている。よって、動物実験委員会の活動状況について、基本指針に適合し適正に機能しているとする自己点検・評価の結果は妥当な内容と判断する。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>平成 22 年度は 689 件の動物実験計画が審査され、688 件が承認（取下げ 1 件）されている。審査過程も記録されており、動物実験計画の立案、及び、審査、承認は適正に実施されている。また、実験結果報告書の提出率は 100%であった。よって、動物実験の実施状況に関して、基本指針に適合し適正に機能しているとする自己点検・評価の結果は妥当な内容と判断する。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>一部ではあるが、苦痛度の評価・軽減措置、実験に使用する動物の数的根拠など問題のある実験</p>

計画に必要な助言や指導が行われていない。動物実験計画の審査要領（基準）を整備し情報共有化を推進するとともに、実験実施者へのより一層の教育訓練を望む。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理を要する遺伝子組換え実験及び感染実験等は注意を要する動物実験計画として把握されている。実験動物の施設外への逸走、あるいは、重大な感染事故、労働災害は発生しておらず、安全かつ適正に動物実験が実施されている。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況に関して、基本指針に適合し適正に動物実験が実施されているとする自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

げっ歯類から鳥類、大型畜産動物まで、多種の実験動物は、部局ごとに定められた飼養保管基本マニュアルに従って管理されている。また、特定の部局内で微生物モニタリングが義務づけられ結果の情報は共有されている。しかしながら、飼養保管マニュアルが整備されていない動物種が存在すること、施設の目的や規模、設備に対応した独自の飼養保管マニュアルの整備が進んでいないことから、概ね良好であるが、一部に改善すべき点があるとした自己点検・評価の結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

<p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>それぞれの飼養保管施設の目的や規模、設備、動物種等に対応した飼養保管マニュアルを整備し、記録の整備と併せて管理運営体制を拡充されたい。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会で承認された飼養保管施設及び動物実験室は、不具合箇所や実施した改善措置を記録するとともに、3年ごとに設置状況を確認し適正な維持管理を行っている。老朽化した2つの主要な飼養保管施設のうち、一方は更新されることが決定している。もう一方は、日常管理の徹底に加え空調用熱源設備を省エネルギー型に更新する等により良好な状態を維持している。よって、施設等の維持管理の状況に関して、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>非常に多くの飼養保管施設・動物実験室があることから、情報の共有とともに動物実験委員会の調査・指導による施設の適正な維持が望まれる。老朽化した施設等には計画的な修理改善を検討されたい。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>実験動物管理者、及び、動物実験責任者、動物実験実施者、飼養者に対して教育訓練実施体制が整備され受講が義務化されている。平成22年度は411名が受講したが、動物実験講習会は29回も開催されており研究者への配慮もある。教育訓練実施記録、受講者一覧、その他の講習会資料が整備されており、基本指針に則した教育訓練が実施されている。よって、教育訓練の実施状況に関し</p>

て、自己点検・評価の結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 自己点検・評価の内容や方法は妥当なものであり、情報公開も基本指針に則した内容が名古屋大学ホームページ上で公開されている。よって、自己点検・評価、情報公開に関して、基本指針に適合し、適正に実施されているとした自己点検・評価の結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 情報公開されているページが外部からわかりにくい。ホームページの改善を検討されるとともに、本検証結果についても、速やかに公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見 特になし。
